

ぐんま金融広報だより

金男さんと広子さんの「スマホの話」

金男さんと広子さんは高校3年生。金男さんはスマホを手になんとか浮かない顔…。

広子さん 「どうしたの、金男くん。なんだか元気がないわね。どうして穴が空きそうな勢いでスマホをにらみついているの？」

金男くん 「ギクッ！…あ、あ、あ…、と、取り上げないでくれよ～」

広子さん 「なにに…、『あなたが御覧になったアダルト画像サイトの未納料金が発生しております。至急当に連絡の上、〇万円お支払い下さい。支払わないとあなたのお宅に訪問させていただきます。連絡 先は…』って。…あ～っ！」

金男くん 「ご、ご、ご、誤解だよ。そんなの見てないよ。信じてくれよう～」

広子さん 「…金男くんがいやらしいサイトを見ているかどうかはともかく、これ、どうするの？」

金男くん 「お金を稼ごよ～、アルバイトでもなんでもして」

広子さん 「基本怠け者の金男くんが少しでも働く気になったのは殊勝な心がけだけど、でもそんなこと必要かしら？これって本当に払わないといけないお金のの？」

金男くん 「…えっ？」

広子さん 「まず、金男くん、落ち着いてよく聞いて。金男くんがいやらしいサイトを見ているかどうかはともかく、この相手に連絡を取ったのかしら？」

金男くん 「電話するかメールを送るかして詳しく話を聞かなくちゃって思ったけれど、怖くてできなかったんだよ。もう3日もほったらかしにしてるんだ」

広子さん 「臆病だったのがよかったわね、それで正解」

金男くん 「…ん？それってどういうこと？」

広子さん 「これはね、架空請求のメールよ。アダルトサイトを見ても見なくても、無差別に送りつけてくるメールなの」

金男くん 「そ、そうなの？」

広子さん 「だから、金男くんがいやらしいサイトを見ているかどうかはともかく、うっかり連絡を取っちゃうと、向こうに金男くんがおびえていることがわっちゃうから、どんどん要求がエスカレートしてくるわよ」

金男くん 「ひええ～」

広子さん 「中には『支払えないなら親に支払ってもらう、親の職場にも押しかける』と脅迫されたケースもあるそうよ」

金男くん 「アダルトサイトに高額なお金の請求…、あ～、完全にスマホ取り上げられる～！」

広子さん 「でも安心して。たいていの場合そのようなメールは無視していれば大丈夫だから。金男くんがいやらしいサイトを見ているかどうかはともかく、メールの方はだいたい架空請求、つまりウソの請求なんだから」

金男くん 「…そ、そうなの？」

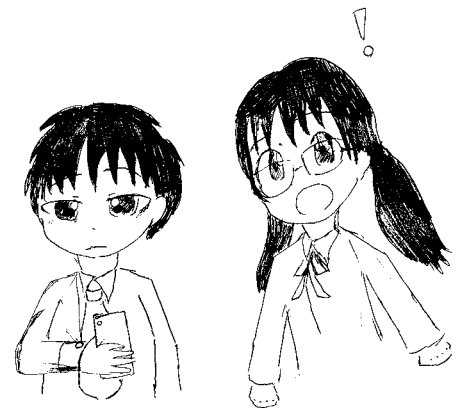
広子さん 「もし心配だったら消費生活センターに相談してみたら？似たような相談事例が集まっているから、きっと相談員さんが的確なアドバイスをしてくれるわよ」

金男くん 「あ～、よかった～。でも一応消費生活センターに相談してみるよ。広子さんありがとう」

広子さん 「どういたしまして。金男くんがいやらしいサイトを見ているかどうかはともかく、お役に立ててうれしいわ」

金男くん 「…だからそれも誤解だって。信じてくれよう。だいたい『金男くんがいやらしいサイトを見ているかどうかはともかく』ってさっきから何回言ってるの？」

広子さん 「…5回」



「金融リテラシー調査(2016年)」結果からみた群馬県の特徴

- 「金融リテラシー調査」とは、わが国における18歳以上の個人の金融リテラシー(お金の知識・判断力)の現状を把握するために、金融広報中央委員会が実施したアンケート調査です。
- 下記の表のとおり、群馬県における同調査結果を全国と比較すると、「お金を借り過ぎていると感じている人」、「株式を購入したことがある人」や「商品性を理解せずに投資信託や外貨預金等を購入した人」の割合が高い一方で、「お金について長期計画を立て、達成するよう努力している人」や「1か月の支出を把握している人」、金融教育の分野(「学校で金融教育を行うべき」と思っている人、学校等で金融教育を受けた人)の割合が高くなっています。
- こうしたことから、群馬県では、お金の借入や金融商品への投資に前向きな姿勢の人がみられる一方、金融教育のさらなる充実に期待を寄せている人が多く、金融知識について向上させる余地が高いことが見受けられます。
- 群馬県金融広報委員会では、今後も引き続き、「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」をいわば車の両輪とした金融に関する情報普及活動を通じ、暮らしに身近な金融に関する幅広い広報活動を行って参ります。

「金融リテラシー調査」結果 (群馬県の特徴<行動・考え方等に関する特徴>より抜粋)

[単位:%]

分野	項目	全国	群馬県
家計管理	緊急時に備えた資金を確保している人の割合	54.9	51.6
	1か月の支出を把握している人の割合	72.1	74.4
金融知識・金融商品の利用選択	資金運用を行う際に他の商品と比較した人の割合	63.1	62.0
	消費者ローンを利用している人の割合	3.9	4.1
	お金を借り過ぎていると感じている人の割合	11.4	12.2
	株式を購入したことがある人の割合	31.6	32.4
	商品性を理解せずに投資信託を購入した人の割合	32.2	36.4
	商品性を理解せずに外貨預金等を購入した人の割合	25.6	30.8
生活設計	お金について長期計画を立て、達成するよう努力している人の割合	47.4	50.5
金融教育	「学校で金融教育を行うべき」と思っている人の割合	62.4	66.8
	学校等で金融教育を受けた人の割合	6.6	7.5

(出所)金融広報中央委員会

日本銀行前橋支店からのお知らせ

- 日本銀行前橋支店では、日本銀行の役割や業務のこと、金融経済情勢のことなどをもっと知っていただくために、店内見学を実施しております。昨年中は店舗工事のため、一時休止しておりましたが、今春より再開しております。店内見学だけでなく、出前見学も行っておりますので、詳しくは、日本銀行前橋支店総務課までお気軽にお問合せください。

お問い合わせ先

日本銀行前橋支店 総務課

電話 027-225-1142

日本銀行前橋支店

検索

クリック!

「アドレス」 <http://www3.boj.or.jp/maebashi/>

お問い合わせ

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

群馬県金融広報委員会事務局 (群馬県生活文化スポーツ部消費生活課内)

TEL 027-226-2273 FAX 027-223-8100 HP <http://gunma-kinkoui.com/>